

令和2年度 光市青少年問題協議会会議結果報告書

- 1 会議の名称
令和2年度光市青少年問題協議会
- 2 開催日時
令和3年2月9日（火）18時～19時30分
- 3 開催場所
光市教育委員会1階ホール
- 4 出席者
光市青少年問題協議会委員19名（1名欠席）
- 5 公開・一部非公開の別
公開
- 6 会議の議事録（要旨）

（1）会長あいさつ

平成28年度から自主性を育むために、主にクリーン光大作戦を中心に様々な地域貢献活動を皆様方と話し合ったり、事例発表を通して子どもたちの取組を共有したりしてきました。しかし、一般の新型コロナウイルス感染拡大で、私たちの生活だけでなく子どもたちの生活まで一変してきました。こうした時、テーマを新しくし、私たちの子どもを見守る目、視点を少し変えてみようということで、今回から「前向きな心」というテーマのもとに皆様方とともに子どもたちの将来を見つめてみよう、また子どもたちの現状を見つめてみよう、そして私たち大人の役割を見つめてみよう、このような思いでいるところです。ぜひ、皆様方のご協力をお願いいたします。

今日は、光警察署と学校教育課からは所管説明をしていただき、その後、島田中学校から「コロナ禍での島田中学校区の取組」と題しまして、事例発表をしていただきます。私たちは、こうした機会に、今、子どもたちがどのようにして、「15歳は地域の担い手」という活動をしているのかを共有したいと思います。その後、皆様方から忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。

（2）役員改選

（3）所管説明

ア 光警察署

- ・管内の少年非行の検挙・補導状況について

イ 光市教育委員会

- ・児童生徒の問題行動等の諸問題に関する調査結果について

（4）これまでの経緯（事務局）

平成28年度から「児童生徒の地域貢献活動」をテーマに、重点を「クリーン光大作戦」、キーワードを「自主性」とし、各中学校区での取り組み状況を発表していただきながら、活動の活性化に努めてきました。昨年度で市内すべての中学校区の発表が終わりましたが、この間、地域への目的の浸透とともに協体制を小学校や高等学校に広げていきました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の問題が発生し、子どもたちの感染防止とともに学校の臨時休校による教育活動の遅れも生じていたため、児童生徒の参加啓発を控えての実施となりました。これまでの発表を振り返ってみますと、どの中学校区でも中学生は「15歳は地域の担い手」という自覚をもって活動をしています。これからも、こうした子どもたちの主体的な活動を支援していきたいものだと思います。

（5）新テーマについて（事務局）

今年度はコロナ禍で児童生徒の様々な活動が制限される状況になりましたが、そうした中でも、学校では子どもたちが先生方と一緒にあって、できる方法を工夫したり、新たな企画を創造したりと、みんなが知恵を出し合って取り組んでいる様子がありました。こうした思いを共有し、前向きに歩んでいければと、テーマを「前向きな心」とさせていただきます。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、各小中学校へのアンケート結果を見ますと、今年度は、感染防止のために多くの活動が制限され、通常の教育活動が困難な状況にありましたが、先生、児童生徒、保護者、地域の方々と一緒にあって、できる方法や新たな企画などを考え、歩んできています。私たちも、そうした子どもたちの思いを共有し、できることで支援・応援していけたらと思っています。なお、今回のアンケ

ートではテーマに「～コロナ禍の中で～」という言葉は添えています。今後、コロナが終息に向かつて状況が良くなってくれば、アンケート等でテーマに添える言葉は変わってくるかもしれません。また、「広報ひかり2月号」には、光市の小中学校でパソコン端末の使用が開始されたことや光市立図書館に電子図書館システムが導入されたことが掲載されていますが、コロナ禍の中でも子どもたちの前向きな気持ちを育んでいく上で大きな力となる機器や設備だと思います。

(6) 事例発表 (島田中学校)

【コロナ禍での島田中学校区の取組～島田川協育ネット・島田川学園小中一貫教育を生かして～】

ア コロナ禍での学校の状況

○光市における臨時休校 (令和2年2月29日～5月24日)

「3年生と保護者だけの卒業式」、「休校中のHPにガンバラウ!島中メッセージ」「学校再開に向けた準備」

○学校生活の再開 (5月25日:放送で始業式)

「1年生と保護者だけの入学式」「机の間隔を広げ、マスク着用の授業」「生徒総会(2回に分けて実施)」「夏休みの短縮(8月8日～8月19日)」「体育授業発表会(半日日程、おやじの会の応援)」「文化祭(半日日程×2日)」「修学旅行代替イベントの実施」「伝統文化に親しむ参観日の実施」

○三井小学校の取組

「家庭科室に飛散防止パネル」「水泳中止で6年生水遊び企画」「3年・4年社会見学」等

○島田小学校の取組

「ふれあいの集い」「芋掘り・焼き芋」「おやじの会の肝試しチャレンジ」等

○上島田小学校の取組

「子どもたちで考えた『運動会の紹介』」等

○周防小学校の取組

「伝統行事の継承「周防柱松をコロナ禍の中で準備・開催」」等

イ 島田川協育ネット・島田川学園・小中一貫教育

○地域ぐるみの防災キャンプ(8月)

体育館・武道場にコロナ対応の避難所づくり、災害救助や復旧に活用されるドローン体験等

○島田川っ子サミット

島田中 SLP 宣言、「さびしさゼロ、いじめゼロ」等

ウ 今後の取組

○今年度を踏まえた取組

○GIGAスクールによるタブレット端末導入

新しい授業の方法、行事の工夫、休校時の対応

エ まとめ

○前向きな心、今だからこそ出来ることを!

SLP(スマイルリンクプロジェクト)笑顔があふれ、一人ひとりに居場所がある学校づくり

○キーワード「つながり、感謝、思いやり」

(7) 意見交換

(議長)

ただ今から意見交換にはいります。「前向きな心」を育むために、どのようなことが大切か。そして、私たちにできることは何か。また、思いを共有するためにできることはないか。島田中学校の発表やアンケートの中にも共感する言葉などがあるかと思います。委員の皆様のお考えやご意見をいただきたいと思っています。また、ご自分の団体等において、「前向きな心」で活動したような例がありましたら併せてお話していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

「できないから諦めよう」ではなく、「何とかしてできる方法を考えよう」との呼びかけのもと、教職員と地域の方々で力をあわせ、知恵をしぼっていろいろな行事にチャレンジしているところです。これは大丈夫だろうかと一つ一つを検討していくのは大変ですが、工夫してやり遂げることで子どもたちは笑顔になるし、次にまた頑張ろうという気持ちになります。また市で整備していただいたICTを活用することで教育活動の幅が広がったと思います。密を避けているいろいろなことができます。私は「前向きな心」の一番は信頼感だと思います。そのためにはつながりの意識を強く持って子どもたちに接したいと思っています。マスクで表情が伝わりにくく、また小学生は手をつないだりふれあうことが好きですが、それもできない中でつながりが薄くならないように一人ひとり

に関心を向け、しっかりと話を聞いたり声を掛けたりして、つながろうとする気持ちをみんなが大事にしていくことが大切だと思います。

(委員)

本年度は中学生が母校に帰ってあいさつ運動をしようという取組を行いました。生徒総会での発案でガイドラインを協議し、コミュニティ協議会に話をもっていき毎月15日に各コミュニティセンターで行っているあいさつ運動に中学生が参加させていただく形となりました。毎月15日に希望者が母校に帰ってあいさつ運動をしています。子どもたちの様子を見るとあいさつの声も大きくなり自信を持てるようになったように思います。こうした成果を少しずつ積み重ねながら「前向きな心」は育っていくのだと思います。

(委員)

コロナ禍の中で、文化祭や生徒総会などをリモートで実施し、ICTの活用はいっしょに進んだように思います。これは大きなツールとして今後可能性が広がってくると思います。以前は生徒指導という心配なことを早めに対応するということがありました。今もそれは大切ですが、前向きな心を育てることでそういったことも軽減されていくと思います。本校で今、考え、取り組んでいることは、「当たり前のことを当たり前でできる」ということをしっかりと価値づけるということです。あいさつもそうですが、そういったことが価値あることであることを体感させていこうという教育をしています。本校の目指す学校像は、「成長実感のもてる学校」というものですが、人と比べるのではなく、昨日の自分と今日の自分で成長を感じられるということ。つまり、自分なりの活躍の場面を少しでもつくっていき、それぞれの場面でステップアップしていくということ。そういったことで、一人ひとりが「前向きな心」を持てるような教育をしていきたいと思っています。

(委員)

コロナ禍でいろいろな行事が縮小や中止になりましたが、そうした中でも新たな発見といえますか、子どもたちが考えて、いろいろなことに取り組むということができた年でもあったと思います。中止せざるを得ないような残念なこともありますが、そのようなことも含めて、これから先、子どもたちが高校生になり社会に出たときに、この経験を生かしてほしいと思います。コロナの状況は今後どうなるか分かりませんが、来年は今年より活動の幅が広げられるようになると良いと思っています。

(委員)

コロナ禍の中でも子どもたちは柔軟に前向きに対応していると思いました。学校の先生方も子どもたちのために頑張ってくださったのだと感謝しています。PTA活動については今年はかなり停滞したように感じています。私たちの学校は光市内の方が半分、市外から来られる方が半分ですが、今年は学校を通じた親同士のコミュニケーションが非常に希薄になり、PTA活動はどうなのかと思いましたが、なんとか各部の活動は行うことができました。まだコロナ禍が続く中、課題はありますが、来年度は学校の先生方と共有しながら子どもたちのためにPTA活動を続けていかなければと思っています。

(委員)

資料の「大事にしている思い」のところで、「今まで当たり前でできていたことが、どんなに有り難いことなのかを見つめ直す機会になっています。」と書かれている小学校がありますが、このような時だからこそ家族とのつながりや地域とのつながりの大切さを再確認することができたのではないかと思います。各学校では地域の特性を生かして工夫をこらされて児童生徒のために様々なイベントや活動をされています。先ほどの島田中学校の事例発表でも素晴らしい取組がたくさんありました。先生方がとても努力をされていて有り難いと思います。今年度はいろいろなことが手探りで進んだのだと思いますが、来年度はつながりがもっともっと濃いものになっていけばいいなと思っています。

(委員)

コロナ禍の中、子ども会行事については市の子ども会としては行ってきていませんが、各地子連の方では少ないながら資源回収等で子どもたちも集まって活動したところもあります。来年に向けては前向きな方向でいろいろ考えて準備をしていきたいと思っています。

(委員)

島田中学校の取組ですが、本当に一生懸命やられていて素晴らしいと思います。先生方も思いついたらとにかくやってみようとしておられます。やらなくては答えは出ないわけです。いろいろと工夫しながら前進していったらいいと思います。

(委員)

島田中学校区の発表ですが、コミュニティ・スクールの中での青少年健全育成の発表は素晴らしいと思いました。また、この会の初めには、光警察署や学校教育課から数字での報告等もありました。この協議会には様々な立場の方が参加されていて課題についての解決策もそれぞれにお持ちではないかと思います。議会としても青少年の問題の解決に向けて真摯に取り組んでいきたいと思いますので皆様のアイデアやご助言をよろしくお願いいたします。

(委員)

先ほどの事例発表は大変良かったです。不自由さを不自由とせず、立派に自由を勝ち取るという姿は素晴らしい。私は保護司としての立場上、よく対象者ともお話をしますが、何が違うのかなと思うとき、カエルが思い浮かびます。カエルは飛び出すために、大きくジャンプするために、一回沈みます。これを対象者で考えると、沈んだら沈んだままで立ち上がれないのです。自分で工夫しようとしないうちです。今の事例発表での取組を見ますと、生徒たちは一回沈んでも、どのようにしたら上に飛び上がれるかを工夫しながら取り組んでいます。ぜひ私もこの活動を参考にしながら対象者の対応に生かしていきたいと思います。

(委員)

今年度はコロナ禍で補導活動も難しい状況にありますが、できるだけ工夫して頑張っていきたいと思っています。

(委員)

地域と一緒にあって、感謝の心や思いやりの心を持った子どもたちを育てていかななくてはと思っています。今は、コロナ禍で難しい状況ですが、終息したら、また学校とも連絡を取り合って頑張っていこうと思っています。

(委員)

島田中学校のお話を伺いながら、先生方の多くの努力やご配慮があつての学校生活だと思いました。コロナ禍の中で何事も前向きに実に多くの行事に取り組まれておられます。子どもたちも自主的に前向きに応えている様子がわかりました。今、誰もが一日も早くもとの生活に戻ることを願っていますが、資料を見ますと、子どもたちはコロナ禍の中で、学ぶことも得ることも多かったのではないかと思います。私たちもできることを前向きにやっつけていかななくてはと改めて思いました。

(委員)

私たちは学校の外でパトロールをしたり、朝、校門に立って子どもたちのあいさつ運動をしたりといった活動をしています。今日は学校の中での活動を見させていただき、本当に素晴らしいと感動しました。コロナ禍で不便なこともたくさんありますが、例年の運動会や文化祭もコロナ終息後は一段と素晴らしい行事になっていくのではないかと思います。生徒たちの活躍を応援しています。

(委員)

光市は子どもたちがあいさつをよくするのに驚いています。普通に外を歩いている時、道に行く中学生や高校生があいさつをします。走っている時でさえあいさつをします。こうした教育はぜひ続けてほしいと思います。私たちの仕事には少年の検挙・補導がありますが、補導に関しては少年の気持ちを汲んだ心に響く指導に努めています。

(委員)

私たちの職場の中には「こども相談センターきゅっと」というのがありますが、コロナ禍の中で相談件数が大きく増加したという様子はありません。子育て家庭に対する学校・地域、また関係する皆様方の取組のお陰だと感謝しております。近年は、相談に来られる保護者の方の養育能力の低下が言われています。親の心が内向きや下向きになっている場合や、子育てのことについて知らない場合も多くあります。多くの子どもの心は前を向いていますので、保護者の心が子どもとともに前向きになるよう助言や活動等をすすめていきたいと改めて感じたところです。悩んでいる家庭につきましては早期対応が必要です。私たちの方には情報がなかなかありませんので、気になる家庭がありましたら、子ども相談センターまで情報をお寄せいただければと思います。

(委員)

コロナ禍の中、多くの方々から各学校にご支援いただきましたことに感謝申し上げます。マスク等の物品のご提供や、校庭・グラウンドの整備や手入れ、あるいは子どもたちへの温かい声かけや励まし、また例年どおりにできない行事をどのようにしたら安全にできるかということ子どもたちと一緒に考えていただきました。そして、創意・工夫しながら多くの方々に、その行事の実現に向けてお手伝いをいただきました。子どもたちはそこから愛情を感じ、感謝の気持ちを抱き、思いやりや歯を食いしばって前を向いて進むことを学んだのだと思います。先ほどの島田中学校の発表の中に島田川サミットのことがありましたが、コロナ禍の中で全国的には誹謗・中傷等、悲しいこと

が多く起こっています。しかし、自分たちは絶対に負けないと「いじめゼロ」に向けて小学校と中学校の子どもたちがどのようにしたらよいかを話し合ったということです。こうした子どもたちの姿ですが、実は子どもたちは自分たちのまわりを取り巻いている大人の温かい眼差し、支え、そして目に見えない「つながり」を感じているから、安心してこうした活動ができているのだと思います。こうした体験は、これから先、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きていくときに、臨機応変に創意工夫しながら前向きに進んでいくことにつながっていくのではないかと思います。コロナ禍で大変な一年でしたが、その中でも多くの学びや感動がありました。本当に皆様方に感謝申し上げます。

(議長)

今回は、島田中学校区の事例発表をもとに、コロナ禍の中で、感染防止の徹底を図りながらも、前向きな気持ちを決して失うことのないように大切に育てておられる学校や地域の姿を共有することができました。また、その中で、将来を担う子どもたちが課題解決力を身につけていっているように思います。私たちも、こうした子どもたちの「前向きな心」が失われることがないように、これからもそれぞれ所属団体や活動の場において、適切な判断のもとでしっかりと子どもたちの「前向きな心」を育てていこうではありませんか。

(8) 今後に向けて (事務局)

今回の会議の内容は後日、市内の各学校やコミュニティセンター等へお伝えし、子どもたちの「前向きな心」を共有していただくとともに、活動の参考にさせていただこうと思っています。また、来年度の途中になると思いますが、「前向きな心」のテーマのもと、各学校あるいは中学校区におけるキーワードや重点にあたるようなものが把握できましたら委員の皆様方にお知らせし、思いを共有しながら前向きに歩んでいければと思っています。委員の皆様方におかれましても、それぞれの団体・機関におかれましても、支援できるチャンスがありました時には、感染防止を図りながら、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。来年度の協議会では、引き続き「前向きな心」をテーマに、これからの一年間で、さらに進んだ、そして工夫された取組等の発表や意見交換ができればと思っています。

(9) 会長あいさつ

島田中学校の事例発表を聞き、そして委員の皆様方からのお話を聞くにつれて、「前向きな心」のキーワードは「自主性」あるいは「自発性」だということに感じました。先日の新聞紙上に農業法人の渡辺さんという方のお話がありました。「お金には色がついている。中央から降ってくるお金と、自らの才覚で稼いだお金は色が違う。良い色のお金は大切に使おうというふうになる。地域で循環する血液となる。」という言葉です。自らの才覚で稼いだお金は色が違うというのは、自主的・自発的に体験したことは良い色のお金となるということで、このことは子どもたちが自発的に体験したことは、良い色のお金となり、地域の活力になっていくというお話だと思っています。子どもたちの自発性については、私たちがどのように支援したら子どもたちが自発的になるかということが大きな課題であろうと思います。ぜひ、皆様方のお力をお貸しいただきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

7 問い合わせ先

光市教育委員会青少年センター (0833-72-2245)